令和５年５月市長定例記者会見

日時：令和５年４月２８日（金）　午後１時３０分～
場所：射水市役所会議室３０２
報道出席者：北日本新聞、富山新聞、読売新聞、射水 CATV
当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
教育委員会事務局次長（生涯学習・スポーツ課長)、
保健センター所長、観光・定住課長、人事課長

〇質疑応答の概要

Ｑ１．　スポーツ推進コーディネーターを設けたことで、前任者においてはどういったメリットがあったか、また今回期待していることは何か。

Ａ１．　前任者には、女子ハンドボールチームのアランマーレやアイシン軽金属の相撲部など市内の企業スポーツチームの応援などを盛り上げていただいた。市内で活躍している企業チームの周知により、知名度も上がり、応援する方々も増えた。さらに、ご自身もサッカーを通じて幼児など小さいお子さんがスポーツに親しむ機会や行事の開催も行っておられた。新型コロナウイルス感染拡大の期間中においては、外出自粛のため、自宅で体を動かすことができるようにと動画制作に取り組むなどご活躍いただいた。

小林さんには、ドイツで総合型地域スポーツクラブの運営を学んでこられた経験を生かして活躍していただきたい。市内の地域スポーツクラブの連携強化や発展などに力を入れていただきたい。

Ｑ２．　オリバースポーツフィールド射水が開業してから１年になる。手ごたえや期待したいことがあれば教えていただきたい。

Ａ２．　昨年の春にオープンしてから１年間で約５万８０００人にご来場していただき、目標の５万人を上回った。多くの方にご利用いただき、お問い合わせもあった。市のスポーツを通じた交流人口の増加や賑わい創出・活性化に大きな効果を発揮しており、引き続き大会・合宿の誘致を訴えかけていきたい。市内では、宿泊施設がリニューアルオープンしたこともあり、市内の関係者みなさんと連携を図りながら、さらなる地域

のスポーツを通じた活性化につなげていきたい。

Ｑ３．　他市の施設よりもオリバースポーツフィールド射水に来てもらうために必要なことは何か。

Ａ３．　合宿などを誘致する際、アイデアと工夫をしていかなければならない。射水市で合宿するメリットや利用される際に求めているものを情報収集し、オリバースポーツフィールド射水を使ってもらえるように取り組んでいきたい。

Ｑ４．　久しぶりにクルーズ船が来たが、手ごたえはどうか。

Ａ４．　海王岸壁に久しぶりの寄港で、外国船の受入れは約１１年ぶりであった。当日の天候は良くなかったが、乗船客は立山黒部アルペンルートや五箇山、瑞龍寺などをオプショナルツアーで訪れ、晴れやかで満足した顔をしておられたのが印象的だった。

射水を周遊していただく機会は少なかったが、乗船された方々に射水市を紹介するマップや北前船との関わりを記した冊子を英語とフランス語の２種類で作成・配布し、非常に喜んでもらえたと聞いている。次回はぜひ射水市に訪れていただきたい。今後も誘致を続けていく。

Ｑ５．　５月に公開の映画「僕の町はお風呂が熱くて埋蔵金が出てラーメンが美味い。」（略称、僕ラー）の感想を教えていただきたい。

Ａ５．　映画を事前に観賞させていただき、地元愛あふれる男子高校生３人組が、かけあいをしながら展開していくストーリーに引き込まれた。地元が高齢化し、若者の減少、空き家の増加といった現状を目の当たりにしながら、好きな町を何とかしたいという思いや、自分たちの将来に悩む姿も描かれていた。最後はみんなでつながり前を向いて歩んでいき、見た後は爽やかな気持ちになった。ぜひ劇場へ足を運び見ていただきたい。

Ｑ６．　「人生の約束」など市内がロケ地に選ばれていることについてどう受け止めているか。

Ａ６．　画面に映し出される射水市内の風景がロケ地としての評価がある。また、撮影をする際の地元（地域）の皆さんの協力体制も評価をいただいていると思う。今後もロケがあれば、県のフィルムコミッションや地元（地域）とも連携しバックアップしていきたい。

Ｑ７．　予算について６月補正を組むということでよいか。

Ａ７．　５月中に臨時議会の開催を調整している。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、住民税非課税世帯への給付、物価高騰により家計が急変した世帯への給付、子育て世帯の中で住民税非課税世帯に対するお子さんに対する給付など、できるだけ早くお渡ししたいということで５月補正を考えている。それ以外の事業所や市の経済対策の取組みについては、６月補正までに課題を詰めていきたい。

Ｑ８．　補正を５月に前倒しする理由を聞かせてほしい。

Ａ８．　子育て世帯への給付を早ければ５月中にお渡ししたいと考えているためである。そのほか住民税非課税世帯の給付については、６月に課税状況が確定しないと対象者の把握はできないが、早めに準備をしてできるだけ早くお渡しできるように進めてまいりたい。